

## 業界トピックス

### 【製造業】

全ての業種で業績が悪化しており、消費が減少している。  
あまりにも景気悪化の為、受注は1/10に低下し最悪である。  
色々な分野の設備投資が出来る様にして欲しい。特定分野ではなく、全体の景気が上向く様にして欲しい。  
半導体部品に関しては新規に繋がる話がない。業界として落ち込んでいる。  
受注高は平年並みですが、客先より入金が遅くなっている。  
受注の大幅な減少に伴い、資金繰りの悪化が深刻化している。  
4月から得意先の倒産が無いが不安である。業界的には前年売上げの50%あれば普通、70%あれば忙しいという状態。  
11月から3月までの受注の状況が今までに例がない程悪化している。  
国内では、トヨタ、日産、ホンダの海外拠点を含め全滅に近く、急激な減産で対応に追われているのが現状です。  
今年夏の支手決済等、機械設備の支払いにも四苦八苦です。  
今まで受注していた仕事が客先で加工を内製化している状態。  
これから先、いつまで不況が続くか先が読めない。  
急激な売上高の減少により、従業員数が過多であり、派遣社員を契約終了時点で再契約をしなかった。

### 【建設業】

メディアで景気悪化を過剰に報道されているので、良くなるはずがない。政府の景気対策は会社の特徴をいかに出すか私共も良い勉強です。  
このまま不況が続くと思われる。  
個人消費の減少。  
建設業並びに不動産業の市況は低迷しております。特に金融不安が最たるものと思われます。  
材料単価の値上がりや受注単価の値下がり又受注量の減少となっている。  
財務状況に応じた金融支援がどうなるか資金繰りに不安がある。いかに不動産流通が活性化していくか。  
株価のダウンが受注に影響している。

## 【卸・小売業】

現状は悪い中でも繁忙期と捉える状況ではあるが、売上げを作っていく芽が見えない状態である。  
5月頃から建設関係業者の淘汰が加速するのではと大きな不安である。(建築金物卸売業)

景気不況による売上げ減少。消費の減少。

設備投資の行方が気になる。

顧客の倒産リスクが高まってきた。

消費動向の変化(鈍化)

従業員の働く事への意識(モチベーション)変化、就業意欲の低下。

メディアでの不況報道により、お客様も買い控えをしている。ドラッグストアの過剰な値引き。

新規のお客様はなく、既存客のみの注文だけである。

政治、経済会に今回の不況を脱していく明確な道を示して欲しい。何とか繋ぎ融資を受けたとしても希望の見える展望が無ければ閉塞感は増すばかりです。

昭和の一昔にもどり、人を大事に物を大事にもどして欲しい。

化学合成物質による「化学物質過敏症」「アトピー性皮膚炎」などが増加しているように感じる。食品の安全、安心を求める心情は解るが  
日常生活用品にも心配りが必要である。(石鹼類販売業)

個人の消費が少量化する一方纏めて多量(割引制度)化するかの両極化する傾向。

銀行の融資の厳しさが増している。

基本図書読者の長期低落が続く。

## 【飲食・サービス業】

案件不足により人員過剰、契約の打ち切りや終了が目立つ。

来店頻度が少なくなった。常連客の来店が減少。

個人情報保護制度や下請けに出す管理制度の厳しさにより、仕事の回転が悪化しており、全く受注できない状況。

マスコミによる過剰な影響で消費が低迷。

来店の間隔が長くなっている。高価な商品の売行きはほとんどない。消費者の要望はますます細部に渡り、接客の良し悪しが求められる。